

# ヒアリとアカカミアリの疑いがある アリの1次スクリーニング手順

特徴1

腹柄節は2節

特徴2

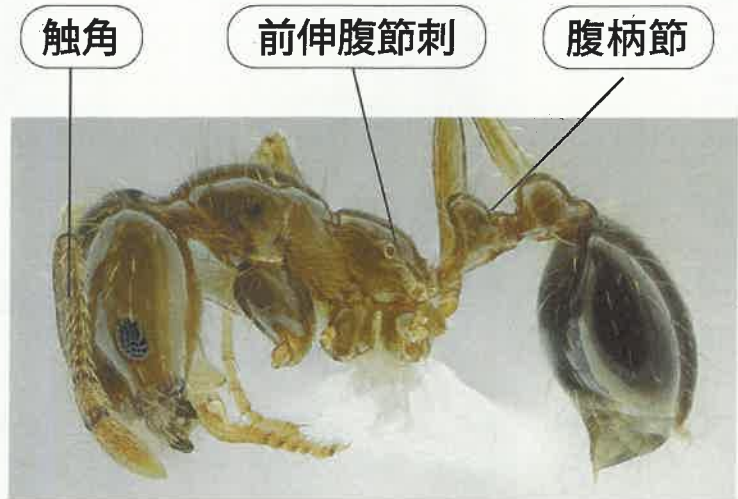
+

触角は10節  
こん棒部は2節

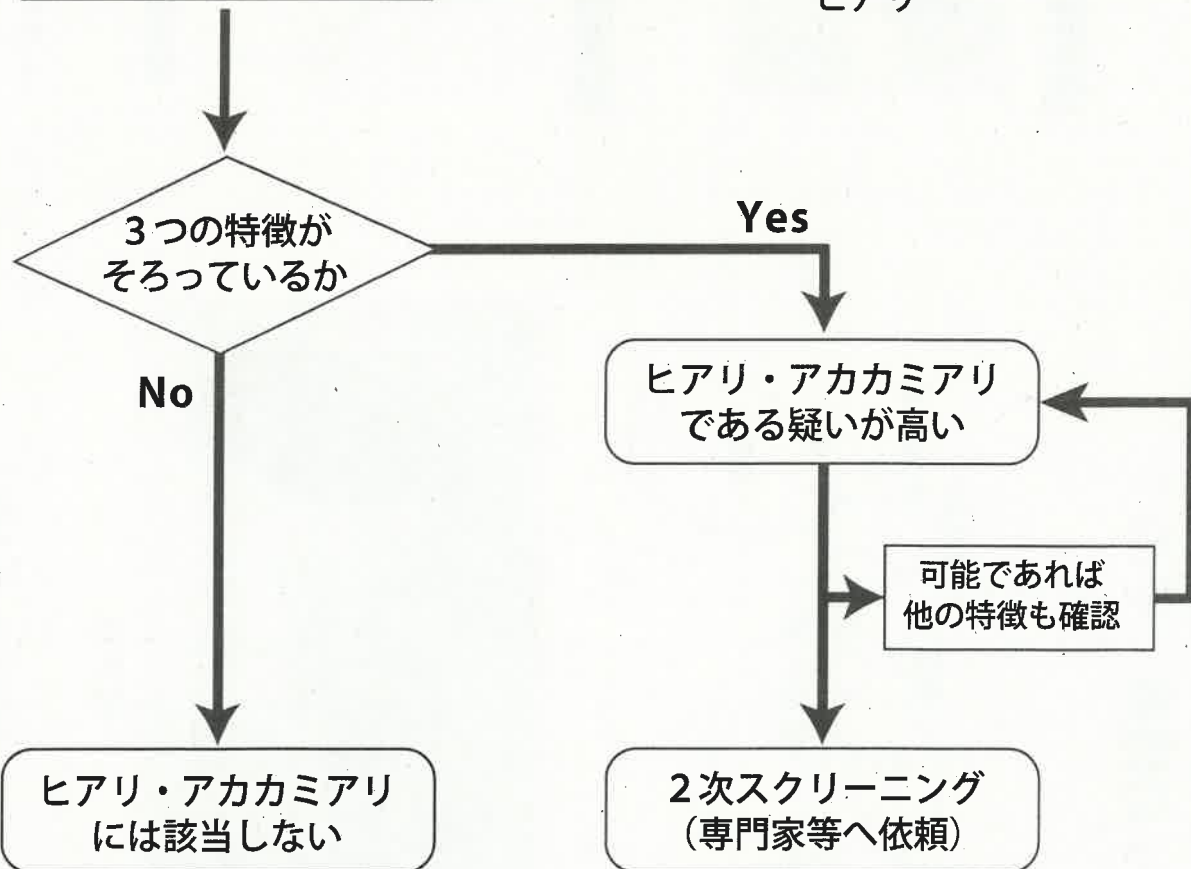
特徴3

+

前伸腹節刺はない  
(胸部の後ろに棘や突起はない)



ヒアリ



\*複数の個体サンプルがある場合は、1個体だけでなく、必ず他の個体でも同じく特徴が揃っているかを確認すること

3つの特徴が、全て、そろっていることが識別のポイント

# ヒアリとアカカミアリの疑いがある アリの特徴 その1

## 1. 腹柄節



ヒアリ

## 腹柄節は2節

# アリ類腹柄節の形態

## 腹柄節が1節



オオハリアリ



トビロケアリ

## 腹柄節が2節



アミアリ



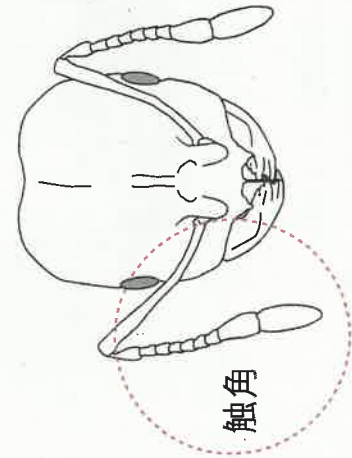
オオシワアリ

腹柄節：胸部と腹部の間にある節構造。腹部第2節と第3節が変化したもの

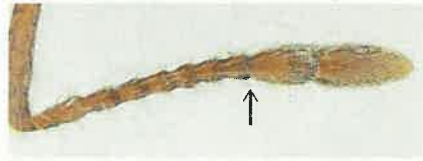
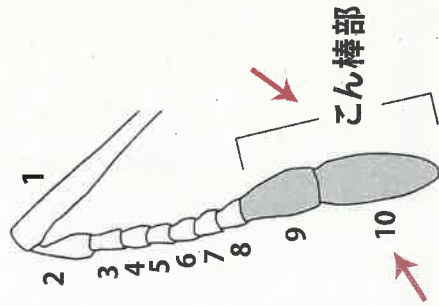
\* アリのなかまは腹柄節が1節のものと2節のものに、大きく分けられる。

# ヒアリとアカカミアリの疑いがある アリの特徴 その2

## 2. 触角



ヒアリ

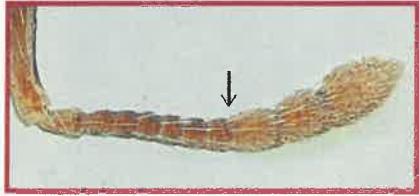


アカカミアリ

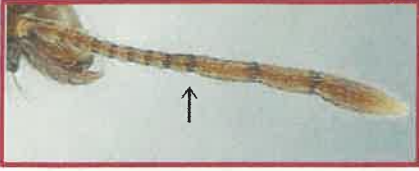
ヒアリ

触角は10節 + こん棒部は2節

# アリ類触角の形態



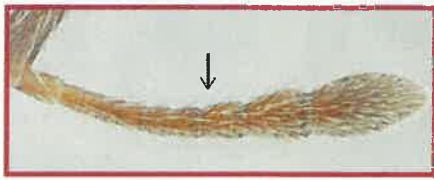
アミアリ  
触角：11節  
こん棒部：3節



オオズアリのなかま  
触角：12節  
こん棒部：3節



クロヤマアリ  
触角：12節  
こん棒部：なし



シリアゲアリのなかま  
触角：11節 (まれに10節)  
こん棒部：2~4節 (まれに不明瞭)



シワアリのなかま  
触角：11節~12節  
こん棒部：3節



オオハリアリ  
触角：12節  
こん棒部：なし

— こん棒部有り

— こん棒部無し

# ヒアリとアカカミアリの疑いがある アリの特徴 その3

## 3. 胸部 前伸腹節刺



前伸腹節：アリでは腹部第1節は胸部と融合しており、見かけ上、胸部の一部になっている



ヒアリ

前伸腹節に棘や突起はない

# アリ類の前伸腹節刺の形態



アメメアリ



ハリボトシリアザアリ



オオズアリ



トビロケアリ

— 前伸腹節刺有り      — 前伸腹節刺無し

\*前伸腹刺が不明瞭なアリもいるので、識別には注意が必要

# ヒアリとアカカミアリの疑いがあるアリの特徴 その他1

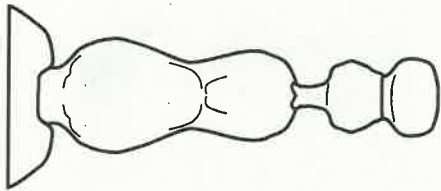
## ヒアリ・アカカミアリ



頭部に触角を収めるための溝はない

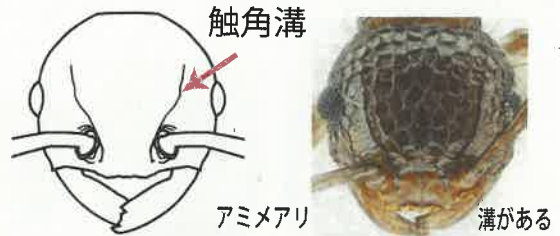


頭盾前縁中央はくぼむ



胸部背面にシワはなく、光沢がある

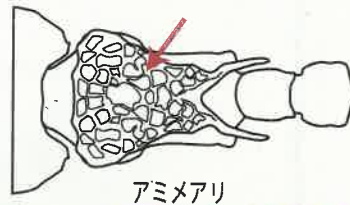
## 該当しないアリの形態



触角溝: 触角を収めるための溝



頭盾前縁: 頭部前方(大アゴ基部)の縁



胸部背面にシワがある

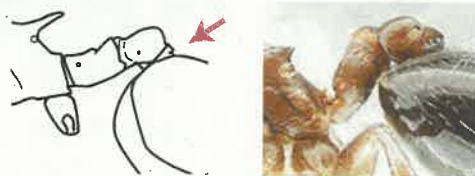
## ヒアリ・アカカミアリとシリアゲアリのなかまの識別点

### ヒアリ・アカカミアリ



後腹柄節は腹部基部端に接続、腹部は背方に強く曲がることはない

### シリアゲアリのなかま



後腹柄節は腹部の背方と接続、腹部を背方に曲げることができる

# ヒアリとアカカミアリの疑いがあるアリの特徴 その他2

## ヒアリ・アカカミアリ



働きアリには連続した大きさの違いがある

## 該当しないアリの形態



大きさの違いは無いか、ある場合は2型

## ヒアリ・アカカミアリと該当しないアリ類の体色

黄色



キイロシリアゲアリ



ハリフトシリアゲアリ



オオシワアリ



ムネアカオオアリ

褐色

赤色



アカカミアリ



ヒアリ

黒色



クロヒメアリ

\*体色は、サンプルの保存状態などで変化するので、識別点としては注意が必要

\*また、羽化(サナギからかえった)直後の個体は、体色が淡く黄色がるので注意

# ヒアリとアカカミアリの疑いがあるアリの特徴 その他3

## ヒアリの巣の塚形態（撮影地：台湾）



ヒアリは、必ずしも明瞭なアリ塚を作るわけでない。特に、外気温が高い季節では、塚は消滅する。また、ヒアリは巣口を巣から離れた場所に作るので、ベイトなどに誘引した働きアリを追跡して巣の本体を見つけることも難しい。これらのことから、アリ塚をヒアリの識別点とするのは、あまり有効ではない